

# 岩屋中だより

令和6年1月9日 NO20

発行 長崎市立岩屋中学校

文責：校長 川口 猛

## 3学期は、4月から始まる新しい生活の『0』学期

あけましておめでとうございます。令和6年がスタートしました。今年もよろしくお願いいたします。

年末年始はどのように過ごしましたか？年末年始には実家に戻って帰省して、親せきと会ったという人も多いことでしょう。年末年始は、なかなか普段会えない人と会ったりする機会とも言えます。

しかし、今年のお正月から、誰もが予想などしなかった出来事が起こりました。能登半島における大地震です。1日午後4時10分ころ、石川県能登半島で、震度7という大きな地震があり、津波や、治割れ、建物の倒壊、火災などで命を失ったり、財産を失った人がたくさんいます。救出活動や復旧活動も道路も寸断によって思ったように進まず、避難生活に必要な物資もなかなか届かないという大変な状況があります。行方不明の方も多く、一途の望みをもって生きている人たちもいると思います。この地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、行方不明の方のご無事を心より祈りたいと思います。

さて、3学期の始業式にあたり、次のことを始業式で伝えました。パワーポイントの画面と併せて伝えたことを記したいともいます。（本便りではパワーポイントの画面は小さく、紙ベースは単色のため、見づらい場合は、ホームページ掲載分を参照下さい。）

あけましておめでとうございます。



令和6年（2024年）が始まりました。今年もよろしくお願いいたします。  
年末年始をどのように過ごしましたか？

今年は辰年 竜のような力強く上昇する年でありたいですね

心温まるお正月、ありがとう



あけましておめでとうございます。

令和6年がスタートしました。今年もよろしくお願いいたします。  
年末年始はどのように過ごしましたか？

学校の中は、心あたたまるお正月がたくさんありました。生徒会役員の皆さん、門松と鏡餅。ありがとうございました。手作り感いっぱい、大変心温まりました。その気持ちが大変うれしいのです。心から感謝しています。さて、年末年始をどのように過ごしましたか？と先ほど聞きました。年末年始には実家に戻って帰省して、親戚と会ったという人も多いことでしょう。年末年始は、なかなか普段会えない人と会ったりする機会とも言えます。しかし、今年のお正月の1日午後4時10分ころ、石川県能登半島で、震度7という大きな地震があり、命を失ったり、財産を失った人がたくさんいます。津波や、治割れ、建物の倒壊、火災などでの被害を受けたり、思ったように救出作業や復旧活動進まず、生活に不可欠な物資も道路の寸断によって届かず大変苦しく、つらい思いをしている方がたくさんいます。この地震によって亡くなられた方々のご冥福をお祈りしたいと思います。また、行方不明の方のご無事を心より祈りたいと思います。

新年を迎えるにあたって、3つのことを終業式の日に話をしました。

すすんで家のことを手伝う

志をたてる

私たちの行動の判断基準

新しい年が始まった！よし、今年は、こんな年にしよう！

今年1年をどのような年にしたいか。今、決意を！

今

どのように変わりたいかを考え、新しい自分の姿を決める。(CHANGE)

決めたことの実現に向かって、今から努力を開始する。(CHALLENGE)

新年になった今がCHANCE

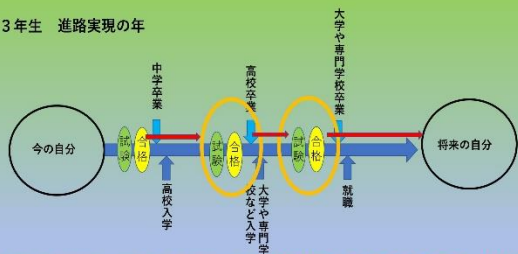
Strike while the iron is hot

3年生の皆さんへ

人事を尽くし天命を待つ

戻るところ、それは、『基礎・基本』

3年生 進路実現の年



手作りの鏡餅と門松です！

新年を迎えるにあたって、私は、2学期の終業式の日3つのことを話しました。画面に出ている3つのことできましたか？新しい年を迎えて、よしがんばるぞという気持ちになっている人がたくさんいると思います。さて、この中の「志をたてる」とは、今年1年で、自分はどのように変わりたいか考え、新しい自分の姿を決めるということです。そして、決めたことを実現するために今から努力を開始しましょう。新しい自分の姿に変わるための一歩を踏み出すのが、この1年の始まりである『今』なのです。変わる(チェンジ)、そして、変わるための挑戦をする(チャレンジ)絶好の好機(チャンス)なのです。『鉄は熱いうちに打て』と言います。熱い気持ちになっている、『今』を大切にしてください

さて、3年生の皆さん、いよいよ希望する進路の実現に向かって、勝負する時が迫ってきました。卒業した後の自分の居場所を自分の力で切り拓く正念場です。

それに臨むにあたって、次のことを伝えます。

『人事を尽くして天命を待つ』という言葉です。ただ、ひたむきに、できることを精一杯やってくるのです。全力を尽くすだけです。余計なことは考えず、全力を尽くしてくるのみです。結果は神様のみぞ知っています。これだけやってきたのだから、受かって当然だと思うのではなく、素直に、ひたむきに、「全力を尽くす」これが、大事だと思います。そして、最後に戻るのは、基礎基本。基本を確認してチャレンジしてください。

それぞれの学年に皆さんにこの3学期について、こうあってほしいということを伝えます。

3年生は、先ほども触れたように、針路実現の勝負の時になります。当然ながら、結果が出て、自分の進路が決まっていきます。

受験をして、この3学期に手にするであろう合格は、次なるステージに立つというスタートです。ゴールではありません。高等学校に進学をすればそこで勝負の時がやってきます。高校卒業後にも、人生の勝負の時は何回もやってくるのです。合格をするということは、次なるステージで勝負するためにスタートしたということです。高等学校卒業時にはまた勝負の時を迎えます。進学なり、就職なり、必ず岐路に立たされます。その勝負は、中学校で今立たされている勝負よりも、一層厳しくなります。また、その先にもまた勝負の時は控えています。大学とか専門学校を卒業する時の勝負です。ある意味、この社会は、グローバルな社会ですから、世界を相手に勝負をするというもっとも厳しい勝負になります。合格をしたら、次なるステージの勝負のために、力をつけて新しいステージに立って下さい。人生の大きな花を咲かせるという第3学年の学年目標はこのことを示していると私は思っています。～続きは、次号で紹介します。～